

# Philomusica Orchester Kyoto

京都フィロムジカ管弦楽団

## 第19回定期演奏会

京都芸術センター制作支援事業

2006年6月11日(日) 午後2時開演

1:15～ プレコンサート

右京ふれあい文化会館



指揮 金正奉

シューマン 交響曲第4番  
Robert Schumann Symphonie Nr.4

～休憩～

ベートーヴェン 交響曲第3番「英雄」  
Ludwig van Beethoven Symphonie Nr.3 "Eroica"

携帯電話・アラーム付時計など、音の出る機器の電源は必ずお切り下さい。  
客席での飲食・喫煙・写真撮影・録音・録画・上演中の私語は固くお断りいたします。  
補聴器が稀に異常音を発することがございます。ご使用の方はご注意願います。



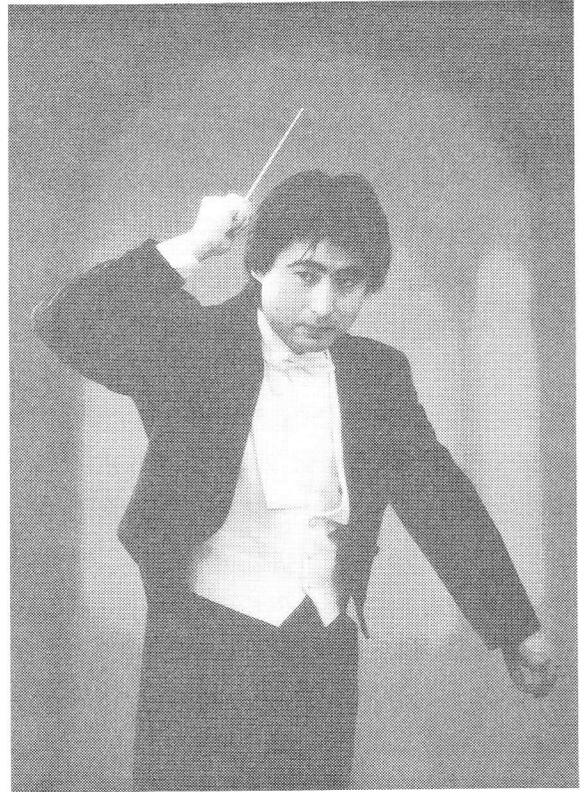
## 指揮者

### 金 正奉 (キム ジョンボン)

1998年3月、大阪音楽大学作曲科卒業。のちに同大学専攻科で1年間指揮の勉強をする。卒業後、関西を中心に飯守泰次郎、広上淳一、本名徹次、現田茂夫、大勝秀也、山下一史、阪哲朗、牧村邦彦、金聖響の各氏らをはじめとして数多くのマエストロのオペラアシスタントとして活動。団体としては、関西二期会、ザ・カレッジ・オペラハウスなど。アシスタントだけでなくカルメン、こうもり、ヘンゼルとグレーテル、フィガロの結婚、夕鶴、他、主要作品の本番も指揮している。昨年12月に喜歌劇学友協会でこうもりを指揮。

管弦楽ではエウフォニカ管弦楽団などと音楽鑑賞会を定期的に行っている。

作曲を田中邦彦氏、指揮をウィーン国立音楽大学の湯浅勇治氏をはじめ、金洪才、Ervin Acelの各氏に師事。



合宿・個人旅行・団体旅行・スキーなどの全ての旅行をサポートします

### 日本教育旅行(株)

京都市下京区下数珠屋町通東洞院東入  
0120-040-566(フリーダイヤル)  
<http://www.net-freeway.com>  
担当 藤田 珠里

印刷のことなら

## 大地社

〒602-0858  
京都市上京区河原町通荒神口上ル二筋目東入ル  
TEL (075) 231-1727(代)  
FAX (075) 256-4604

## 曲目解説

### シューマン／交響曲第4番 二短調

シューマンはどうも苦手だという人がいます。管弦楽法がいまひとつで音が十分に鳴り響かない、せつかくいい旋律なのにここまでしつこく繰り返されるとつらい、リズムが単調で和声も教科書どおりの紋切り型など、たくさんの理由があるようです。確かに聞き手にとっては気になる部分が多いのですが、それにもかかわらずシューマンは演奏会、特にコンクールで頻繁に取り上げられます。なぜでしょうか。それはこの作曲家の作品に対する奏者の姿勢が演奏に如実にあらわれてしまうからです。つまり作品に対する理解度が演奏に直結するということです。それほど内面的に深いものが要求される作曲家と言えるでしょう。

きょう演奏する第4番ですが、これはシューマンが「交響的幻想曲」と呼んでいたほど交響曲の形式からさらに先へ踏み込んだものとなっています。各楽章は密接に関係し、切れ目なく演奏されます。のちにシベリウスが最後の交響曲を書いたとき、行き着いた先が全楽章の融合といった形になったのは少なからずこのシューマン4番の影響があったのではないのでしょうか。

第1楽章（11分）フォルテで奏される冒頭。ゆっくりとした序奏のなかに主部で使われる主題がうごめく。主部は「生き生きと」奏され、さわやかさのなかに情熱がこめられる。

第2楽章（4分）オーボエとチェロのソロによるロマンスが哀愁を帯びている。途中、ヴァイオリンソロが三連符の細やかな動きをみせる。

第3楽章（6分）力強いスケルツォ、対照的に優美なトリオが印象的。

第4楽章（7分）前楽章の余韻のなかに第1楽章の素材がゆっくりとよみがえる。次第に勢いを増し、主部では第1楽章展開部の主題が活躍する。最後はプレストとなり締めくくる。

（曲目推薦者 Hrn. 長岡武志）

### ベートーベン／交響曲第3番 変ホ長調 『英雄』

この曲には『英雄』という表題とも関係したナポレオンにまつわる有名な逸話があるため、人気作曲家ベートーベンの作品の中でもとりわけ知名度が高い。同時に、この曲は交響曲の歴史上画期的な大作であり、今も聴衆や作曲家たちを魅了し続ける充実した内容を誇る。

この曲の最大の魅力は冒頭にあると言っても過言ではあるまい。変ホ長調であるこの曲の主和音（ミ♭・ソ・シ♭）をフル・オーケストラで2回強く鳴らしてから主旋律が歌われる（譜例1）。いたって単純な開始であるが、しかし、これほど印象的かつ効果的な開始は滅多にあるものではない。考えてみればこの冒頭の主和音の強打は、無くても何ら不自然ではない。しかしながら、これがあることによって、聴衆は度肝を抜かれ、次なる展開へと期待を膨らませる。そればかりか、この曲の躍動的で逞しい曲想を、3拍子に乗せられた2回の強打で象徴しているのである。この冒頭の2音によって、聴衆は活気ある律動の世界に否応無く引きずり込まれるのである。この斬新な曲の開始は後世の作曲家たちにも強い影響を与えている。例えば、エルガーの第1交響曲（譜例2）、ショスタコー

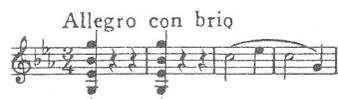
ヴィチの第15交響曲(譜例3)はこの『英雄』の影響が直接表れているとみて間違いあるまい。最も簡潔で最も効果的な冒頭を書くことに成功したベートーベンの高笑いが聞こえてくるようだ。

この曲には、このように実に単純でありながら聞き手に強い印象を与える細かな仕掛けが随所にちりばめられている。少し例を挙げてみよう。第1楽章の提示部の終わり、静かな雰囲気の中に前衛的な4和音(シ♭・レ・ファ・ラ♭)が突然強く鳴らされ、これを合図に提示部がリピートされる(ベートーベン流びっくり交響曲?)。同じく第1楽章、高らかに旋律を吹くかと思われたトランペットが突然脱落し、聞き手に肩透かしを食わせる(譜例4 自由に音階が吹けなかった当時のトランペットをからかったブラック・ユーモアか?)。第3楽章、スケルツォのトリオ(中間部)をホルンのトリオ(3重奏)で演奏するというあまりにも分かりやす過ぎる冗談。同じく第3楽章、3拍子のスケルツォに一瞬2拍子が挿入される意外性(譜例5)。終楽章の末尾、8分音符の連打で締めくくられると見せかけておいて、最後の音符のみ4分音符にするという意地悪な終わり方(譜例6)。このような破天荒な表現が、さながら赤塚不二夫漫画のギャグの連射のように休み無く襲いかかってくる。

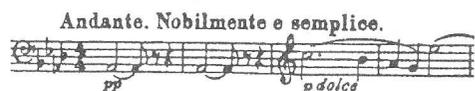
もちろん、こうした細かな仕掛けのみならず、交響曲の可能性を限界にまで広げたともいえる大きさもこの曲の魅力である。とりわけ、アダージョで書かれた「葬送行進曲」(第2楽章)はこの交響曲の白眉ともいべき楽章である。重々しく、且つ充実した楽章であり、南国風の明るい雰囲気と疾走するような軽やかさを持った第3楽章と見事な対照をなしている。

ベートーベン以降、交響曲というジャンルは多様な展開を見せる。長大なアダージョ楽章が全曲の白眉となるブルックナーやマーラー、人を食ったようなブラック・ユーモアに満ちたショスタコーヴィチなどは、その源流をこの『英雄』に求めることができよう。(Tp. 遠藤啓輔)

譜例1 ベートーベン3番・冒頭



譜例2 エルガー1番・冒頭



譜例3 ショスタコーヴィチ15番・冒頭



譜例4 ベートーベン3番・第1楽章(655~)



譜例5 ベートーベン3番・第3楽章(380~)



譜例6 ベートーベン3番・第4楽章(471~)





# 京都フィロムジカ管弦楽団「友の会」会員様ご芳名

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 村上 治子様  | 渡辺 晴菜様  | 三木 敏弘様 |
| 川野 浩之様  | 河上 由香里様 | 岡本 幸雄様 |
| 岩佐 聖子様  | 小林 香様   | 岡島 敦子様 |
| 田中 直子様  | 杉本 幸子様  | 中西 充弥様 |
| 渡辺 真人様  | 大原 達也様  | 信広 澄子様 |
| 渡辺 和美様  | 安藤 美知穂様 | 村岡 昌子様 |
| 松村 里香様  | 稲村 董雄様  | 横田 洋子様 |
| 松村 正人様  | 遠藤 時金様  | 茂原 重一様 |
| 南方 一晃様  | 倉田 八重子様 | 真島 秀行様 |
| 津田 篤太郎様 | 井谷 宏美様  | 吉田 育弘様 |
| 越後 千代様  | 鎗本 和弘様  | 永野 貴子様 |
| 渡辺 一真様  | 谷口 佳隆様  | 孝本 浩基様 |
| 渡辺 由加理様 | 高橋 順子様  |        |

2002年4月に発足しました「友の会」は、上記会員の皆様方よりご支援いただいております。(2006年5月現在)



独立行政法人 酒類総合研究所 主催

<http://www.eikun.com/>

全国新酒鑑評会 8年連続金賞受賞蔵

## 齊藤酒造株式会社



伏見の清酒 酒の芸術

ICHIGIN

英熟

純米大吟醸

一吟

各地有名百貨店にてお求め下さい

# 京都フィロムジカ管弦楽団

## Philomusica Orchester Kyoto

### Konzertmeister

天澤 天二郎  
(Beethoven)  
西村 祐司  
(Schumann)

### Violine

天澤 天二郎  
梅川 碧里  
岡島 裕香  
小幡 拓也  
澤田 菜摘  
塩田 怜奈  
中島 円  
西村 浩輔  
西村 祐司  
水野 紗綾  
渡邊 達之輔  
相澤 悠※  
飯田 俊也※  
大浦 一馬※  
小田根 宏明※  
定金 恵子※  
田原 靖子※  
中谷 加奈※

### Bratsche

宇佐美 恵子※  
田代 直子※  
田中 ふみ※  
平石 美緒※  
松浦 淳司※  
松本 一輝※  
森 静香※

### Violoncell

海野 香織  
岸本 妙子  
多田 進  
小松 正明※  
塚田 毅※

### Kontrabaß

鳥山 拓  
関 大輔※  
石橋 遼※

### Flöte

江藤 佳美  
加藤 勇仁  
小松 朋美

### Oboe

石原 才子  
山出 涼子

### Klarinette

上高原 千寿子  
田中 慎一郎  
萩原 潤  
馬屋原 隆広

### Fagott

常見 英加  
桂田 菜保子※

### Horn

芦原 俊平  
片山 真吾  
坂口 裕志  
阪本 一浩  
野田 啓  
長岡 武志  
吉野 文彦

### Trompete

遠藤 啓輔  
竹内 恵理  
中西 美智子

### Posaune

益田 繁幸  
安藤 誕※  
藤井 大輔※

### Tuba

塚田 淳一

### Pauken

安岡 祐子※

※：客演奏者

### 顧問

和田 之宏

### 団長

長岡 武志

### 事務局長

西村 浩

### 弦トレーナー

吉野 美穂

京都市立芸術大学卒業。ヴァイオリンを木村直子、岸辺百百雄、室内楽を種田直之、河野文昭、久合田緑の各氏に師事。

### 管トレーナー

山崎 雅夫

京都大学卒業。京都大学交響楽団管トレーナー。トランペットをC、マクベス、A、ハーゼス、M. アンドレの各氏に師事。



舞鶴 宮津 小浜

事務局：舞鶴市字福来1111の2 TEL：0773(77)2710

# 京都フィロムジカ管弦楽団からのお知らせ

## ♪ 第 20 回定期演奏会 ♪

2007年1月21日(日) 京都コンサートホール(大ホール) 指揮:金子 建志

伊福部 昭/『交響譚詩』

マーラー/音詩『巨人』(交響曲第1番ハンブルク初演稿・関西初演)

## ♪ 新入団員随時募集中 ♪

募集パート: ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス、

オーボエ・ファゴット・ホルン・トロンボーン(テナー以外も兼務)・打楽器

※管・打楽器はオーディションがあります。

※コントラバスは団所有の楽器があるため、楽器に関しては相談に応じます。

詳しくはお問合せください。

Tel: 090-8163-4626 (専用携帯電話 担当・竹内) E-mail: recruit@kyotophilos.com

## ♪ 「友の会」会員随時募集中 ♪

フィロムジカの活動を応援して下さる方を募集しています

【年会費】1口 1,000円 【期間】ご入会いただいた月より1年間

【特典】1. 期間内の定期演奏会に、1口につき1名様を無料ご招待

2. その他演奏活動のご案内

3. 定期演奏会プログラムへのご芳名の掲載

お申込み・入会に関するお問合せ Tel&Fax 075-605-0123 (西村) E-mail: tomo@kyotophilos.com

京都フィロムジカ管弦楽団ホームページ <http://www.kyotophilos.com/>

## クラシック音楽の海外公演・国際交流

海外での公演・国際交流は、現地でのマネジメントが大切です。

弊社は日本のオーケストラの海外公演・国際交流を、真の意味で成功させて参りました。

海外公演・国際交流のお手伝いはおまかせください。

### 最近の海外公演実績

岡山県桃太郎少年合唱団ヨーロッパ公演 1998年、2005年8月

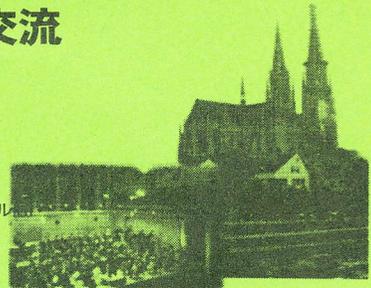
(ドイツ:レーゲンスブルク大聖堂/ブラハ:ルドルフイナム スークホール他)

同志社大学交響楽団ヨーロッパ公演 1998年、2001年、2003年

(ミュンヘン:ヘラクレスザール/グラーツ:ステファニーザール/ブラハ:ドヴォルザークホール他)

彦根市ベルリン第九オーケストラ・合唱団 1999年12月(ベルリン:SFB放送大ホール)

京都市民管弦楽団ヨーロッパ公演 1999年(ウィーン:ムジックフェライン大ホール他)



ホームページ: <http://www.mitsuma.com/>

協力会社: ルフトハンザドイツ航空会社、全日空、JTB、近畿日本ツーリスト、AIU保険会社

(社)日本クラシック音楽事業協会会員

(株) ミツマ・ミュージックプロダクツ

〒605-0009 京都市東山区三条通大橋東入ル大橋町102 田中ビル5F Tel.075-761-1213 Fax.075-752-5568